

## 第13回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成22年1月27日 午前9時30分～12時10分  
場 所 神戸市役所都市計画総局大会議室

### 1．市政アドバイザー意識調査結果の報告

- ・結果は、市民の感覚とよく合致していると思う。ただ、自転車の一番の問題は、自転車に乗る人のマナーであり、自転車専用道路の整備後には啓発や指導が必要である。
- ・市政アドバイザー配布者の属性を記載して欲しい。

### 2．環境にやさしいみちづくりについて

- ・環境とは、自然環境を意味するのか、生活環境も含むのか説明が必要である。
- ・渋滞の定義変更については、行政の都合ではないことが市民に理解されるように記載する必要がある。
- ・渋滞は、沿道で生活する人にとっては大きな問題であり、解消に取り組む必要がある。
- ・渋滞解消により、誘発交通が発生するのではないか。自動車交通量の抑制の施策と相反すると考えられるので、考え方の整理・記述が必要である。
- ・自動車交通量の抑制の施策は、まだまだ初歩的な内容である。目標を数値で示すことを検討する必要があるのではないか。
- ・振動発電など新しい環境対策技術への対応について、考えを記載した方がよい。
- ・環境負荷をいかに軽減するかということなので、「環境にやさしいみちづくり」という言葉自体に違和感がある。
- ・次世代自動車の導入推進は話題性のある施策と考えられることから、旧居留地で低公害車を優遇するような、まちづくりと一体となったプロジェクトの検討が必要と考える。

### 3．安全・安心なみちづくりを目指して

- ・維持管理は大切なことであり、取り組み内容は着実に推進する必要がある。

### 4．その他（みちづくり計画について）

- ・神戸の魅力は街路空間であり、まちを歩きながら買い物が楽しめるという他都市と競争できる魅力を伸ばしていく必要がある。
- ・「みちづくり計画」の全体像を示した上で、重点施策の重要性が理解できるような構成にする必要がある。